

8. 公共交通等のバリアフリー化の推進

【背景】

障害者・高齢者をはじめ、誰もが利用できるまちづくりを推進し、また視覚障害者等の転落事故防止を図るため、鉄道駅舎のエレベーター整備やホーム柵整備、ノンステップバス導入などバリアフリー化支援を実施。

【事業概要】（予算額：424,959千円）

国の方針では、平成32年度までに1日平均乗降客数が3,000人以上のすべての鉄道駅について、原則バリアフリー化の目標が掲げられている。

神戸市では、鉄道駅舎のバリアフリー化整備に要する費用の一部（補助率1/6）を補助するほか、ノンステップバス導入費用の一部を支援している。

（バリアフリー化整備）

EV、スロープ、ホーム柵等転落防止柵、内方線、多機能トイレ 等

【事業効果】

（市内のバリアフリー化状況）

1日平均乗降客数3,000人以上の駅104駅 うち整備済み94駅

整備中・予定駅 9駅 残りの未整備駅 1駅

（ノンステップバス補助実績）

192台（平成12年度～平成30年度）

【事業スケジュール】

・ホーム柵整備予定駅

JR西日本	：神戸駅	（平成31～令和2年度）
阪急電鉄	：神戸三宮駅	（平成30～令和2年度）
阪神電気鉄道	：神戸三宮駅	（平成31～令和2年度）

・バリアフリー化等整備予定駅

阪急電鉄	：花隈駅	（EV・多機能トイレ）	（平成28～31年度）
阪神電気鉄道	：西元町駅	（EV・多機能トイレ）	（平成30～31年度）
	大開駅	（EV・多機能トイレ）	（平成31～令和2年度）
	住吉駅	（EV・多機能トイレ）	（平成31～令和3年度）
神戸電鉄	：長田駅	（EV・内方線・多機能トイレ）	（平成30～31年度）
	花山駅	（スロープ・多機能トイレ）	（平成31～令和2年度）
	大池駅	（スロープ・多機能トイレ）	（平成31～令和2年度）

・ノンステップバス導入予定

山陽バス9台、神姫バス11台、阪急バス1台